



## さあ、答え合わせをしよう！

### 第31週目 2/22 行ってみよう～京都府(きょうとふ)からの出題

※ココを見てね! ▶行ってみよう～京都府(きょうとふ)

1. 京都府(きょうとふ)は、江戸時代(えどじだい)まで3つの国にわかれていました。丹後(たんご)、丹波(たんば)と、あと1つは何?

正解:③山城国(やましろのくに)

正解は③、山城国(やましろのくに)ですね。ちなみに、但馬国(たじまのくに)は現在の兵庫県(ひょうごけん)、近江国(おうみのくに)は現在の滋賀県(しがけん)となっています。

2. 大風呂南1号墓(おおぶろみなみ1ごうぼ)から出土したガラスの成分は、中国大陸のものでした。そのお宝は?

正解:①腕輪(うでわ)

「お宝ベスト5」1つ目を見てください。澄(す)んだ海のように美しい、ライトブルーに輝(かがや)くお宝。そう、正解は①腕輪(うでわ)ですね。直径9.7cm、168.1gと、かなりの存在感(そんざいかん)があり、断面(だんめん)は五角形になっているようです。ガラスの腕輪(うでわ)はいくつかみつっていますが、これほど美しいものは珍(めずら)しく、しかも完全(かんぜん)な形で残(のこ)っていました。

3. 「景初(けいしよ)四年」の年号がしるされた謎(なぞ)の銅鏡(どうきょう)がみつかったのは、次のうち、どの墓(はか)ですか?

正解:①広峯15号墳(ひろみね15ごうふん)

正解は、「お宝ベスト5」4つ目にありますね。①広峯15号墳(ひろみね15ごうふん)です。「景初(けいしよ)」という年号(ねんごう)は、古代中国の魏(ぎ)の時代の4番目にあたります。ちなみに、大田南5号墳(おおたみなみ5ごうふん)からは、現在日本で確認(かくにん)された古代中国の年号が書かれたものの中で1番古い「銅鏡(どうきょう)」が、湯舟坂2号墳(ゆぶねざか2ごうふん)からは、金銅装環頭大刀(こんどうそうかんとうたち)が出土(しゅつど)しています。どちらもとても珍(めずら)しいものなので、京都府(きょうとふ)の「お宝ベスト5」で紹介(しょうかい)されているよ。

4. 『魏志』倭人伝(ぎしわじんてん)に書かれている、魏(ぎ)の皇帝(こうてい)が卑弥呼(ひみこ)に贈(おく)った銅鏡(どうきょう)の数は、何枚?

正解:③100枚

正解は、③100枚です。なぜそんな大昔のことがわかるかというと、中国の歴史書(れきししょ)『魏志』倭人伝(ぎしわじんてん)に書かれているからです。魏(ぎ)の皇帝(こうてい)は、銅鏡(どうきょう)100枚のほか、絹(きぬ)などの高級(こうきゅう)な布(ぬの)、長い刀(かたな)2本、金、真珠(しんじゆ)などのお宝を卑弥呼(ひみこ)に贈(おく)ったんだよ。このことは、「調べてみよう」のコーナーにある「時代のながれ～弥生時代(やよいじだい)⑤国際社会(こくさいしゃかい)の仲間(なかま)入り」や「もっと知りたい弥生時代(やよいじだい)～卑弥呼(ひみこ)のこと」も読んでみてね。

5. 現在、日本には、古代中国の年号がしるされた「銅鏡(どうきょう)」が13枚確認されています。1番古い年号は、何と書かれていますか?

正解:③「青龍(せいりゅう)三年」

「お宝ベスト5」2つ目に写真付きで紹介(しょうかい)されています。③「青龍(せいりゅう)三年」が正解です。銅鏡(どうきょう)は日本各地でたくさんみつっていますが、古代中国の年号がしるされた、つまり大陸から海を渡(わた)ってきたものの中で、「景初(けいしよ)」という年号(ねんごう)は、魏(ぎ)の3番目の時代です。丸形が多く、磨(みが)かれた鏡面(きょうめん)の裏(うら)の中心につまみがあり、その周囲(しゅうい)にさまざまな文様(もんよう)などが見られます。鏡(かがみ)といっても姿をうつしだす道具としてではなく、祈(いの)りや祭(まつ)りの道具としてもちいられたと考えられています。